

2021年1月19日

各位

会社名 ケネディクス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 宮島 大祐
 (コード番号:4321 東証一部)
 問い合わせ先 執行役員経営企画部長 寺本 光
 電話番号 (03)5157-6100

2020年12月末時点の受託資産残高(AUM)について

2020年度第4四半期末(2020年12月末)の当社グループAUMは、下記の通り前年度(2019年度)末より約513億円純減し、2兆3,408億円となりましたのでお知らせします。また、ベースAUMは、約1,777億円純増し、1兆9,549億円となりました。

記

＜2020年度 第4四半期 AUM＞

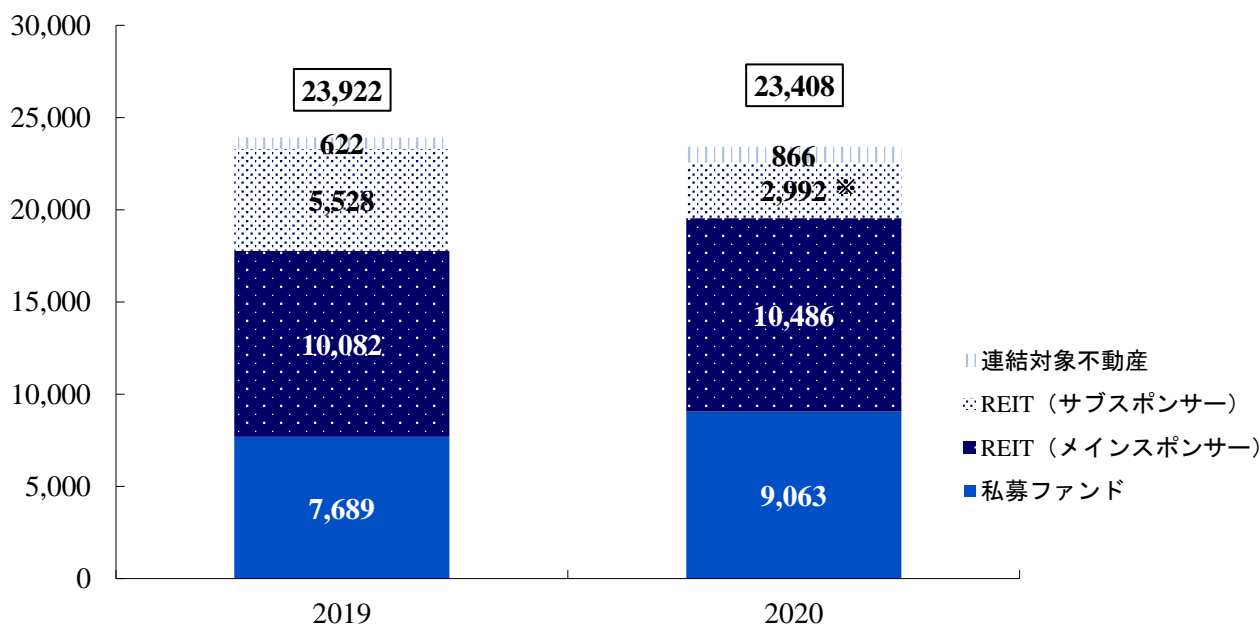
	前期末残高 (2019年12月末)	増加額*1	減少額*1	純増減額	期末残高 (2020年12月末)
Total AUM	2兆3,922億円	3,578億円	4,091億円	△513億円	2兆3,408億円
ベースAUM*2	1兆7,771億円	2,634億円	856億円	1,777億円	1兆9,549億円

*1:当社グループ内で運用するファンド間での売買を含みます

*2:当社がメインスポンサーであるREIT及び私募ファンドのAUM合計を指します

＜AUMの内訳＞

(億円)



※プレミア投資法人のAUM2,467億円(2020年9月末時点)については2020年10月以降当社グループAUMの計上対象外となりました(2020年10月7日開示資料「当社が保有するプレミア・リート・アドバイザーズ株式会社株式のNTT都市開発株式会社への移転について」をご参照ください)。

注:当社グループでは、以下の基準で受託資産残高の集計を行っています。

ー当社グループがアセットマネジメント業務等を受託している不動産案件が対象です。

ー取得時の物件購入価格(税抜)で集計し、取得付随費用やバリューアード費用(物件価値を上昇させるための資本的支出)等のコストについては、本来は会計上の簿価を構成するものですが、受託資産残高には含まれていません。

ー当社グループが一時的に自己勘定で取得し、アセットマネジメント業務等を行っている物件を連結対象不動産と表記しています。

また、当社の関係会社で資産運用を受託しているREIT物件も含まれています。表記については以下のとおりです。

REIT (サブスポンサー) : 日本ロジスティクスファンド投資法人、プレミア投資法人及び AmanahRaya Real Estate Investment Trust

REIT (メインスポンサー) : ケネディクス・オフィス投資法人、ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人、ケネディクス商業リート投資法人及びケネディクス・プライベート投資法人

ー受託資産残高は、今後の受託資産の売却等により減少する可能性があります。